

資産運用状況

当基金では、事業主と加入員のみなさんからお預かりした掛金と積立金の資産運用を、以下4社の信託銀行・投資顧問会社に委託しています。資産運用におけるリスクを分散するために、特定の運用手法への集中を避けたバランス運用をベースとしています。

運用機関、運用商品についての実績の評価、運用方法の確認は定期的に行っており、理事会・代議員会に報告し、必要に応じ見直しを行っております。

こうした運用方法の策定、見直しにあたっては、運用コンサルタント会社であるマーサー・ジャパン(株)から外部の専門家として助言・アドバイスを得ております。

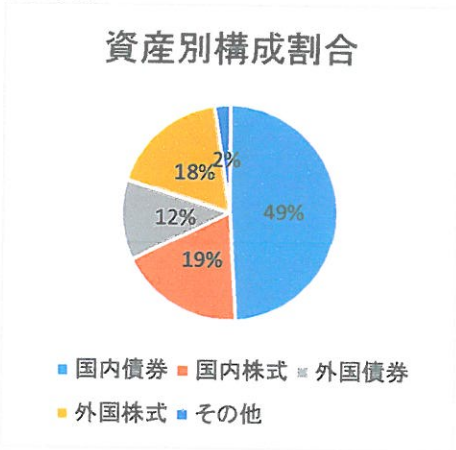
●運用委託会社

- ・三菱UFJ信託銀行(株)
- ・ブラックロック・ジャパン(株) (⇒世界最大規模の資産運用会社)
- ・MU投資顧問(株) (⇒三菱UFJ信託銀行(株)の子会社)
- ・三菱商事アセットマネジメント(株) (⇒三菱商事(株)の子会社)

●運用資産の構成割合等(26年10月現在)

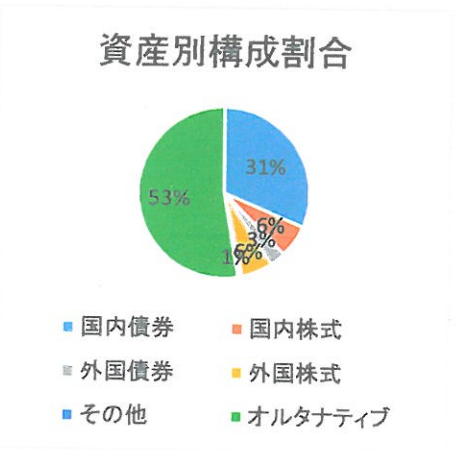
・当基金では、厚生年金保険法改正に伴い、代行返上方針を決議したことを踏まえ「代行部分(国に返上する部分)」と「加算部分(基金独自の給付にかかる部分)」を分けた運用方針をとっています。

①代行部分



- ・代行部分の資産構成割合は、国の厚生年金本体運用のものと一致させています。
- ・全額(154億)を三菱UFJ信託銀行に委託し、同行が日々厚生年金本体の運用状況をチェックしています。
- ・なお、返上資産の一部250億円を平成26年9月に国庫に前納いたしました。

②加算部分



- ・市場環境の変化が激しい現状を踏まえ、債券、オルタナティブ運用にウエイトを置いています。
- ・オルタナティブとは、債券や株式などの伝統的資産とは、異なる運用資産や手法をとるものであり、市場環境のブレの影響が小さいという特色があります。
- ・加算部分の委託先別の金額は以下のとおりです。

(百万円)	
三菱UFJ信託銀行	964
ブラックロック・ジャパン	1,915
MU投資顧問	506
三菱商事アセットマネジメント	434
合計	3,819

●収益率の推移

平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
5.96%	2.45%	13.63%	-10.88%	-4.63%	-13.79%
平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
19.37%	5.64%	25.02%	5.71%	-12.63%	-21.95%
平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
18.71%	-1.56%	0.56%	9.89%	6.53%	

＊時価会計に移行した平成9年度からの時価ベースの利回りです。

